

2023 年(1月1日～12月31日)活動報告

動物実験計画書の年間の承認件数

	新規	変更	軽微変更	計	計画数 <sup>※1</sup>
医学部	35	10	28	73	158
医学部附属病院	12	2	6	20	41
バイオメディカル研究所	16	0	20	36	69
農学部	39	1	11	51	104
繊維学部	8	3	3	14	56
理学部	3	0	0	3	5
基盤研究支援センター	3	0	13	16	23
計	116	16	81	213	456

※1: 2023年より前に承認された計画も含み、2023年中に有効な承認期間が存在する実験計画の総数

施設の情報(機関の長によって承認された飼養保管施設および動物実験室)

飼養保管施設

	新規	廃止	総設置件数
農学部	1		16
繊維学部			2
基盤研究支援センター動物実験支援部	4	3	39
計	5	3	57

動物実験室

	新規	廃止	総設置件数
理学部			1
医学部			32
農学部			17
大学院農学系研究科			1
繊維学部	3		10
基盤研究支援センター動物実験支援部	3	2	30
基盤研究支援センター遺伝子実験支援			3
基盤研究支援センター機器分析支援部			1
計	6	2	95

**動物実験計画審査所要日数**

最長所要日数 101 日  
 最短所要日数 2 日  
 平均所要日数 22 日

※研究支援課で受付した日～承認された日までの間

**小委員会開催回数**

医学系動物実験小委員会 57 回 (内訳: 新規・変更 22回、軽微変更 35回)  
 農学系動物実験小委員会 27 回 (内訳: 新規・変更 24回、軽微変更 3回)

**教育訓練の実績(実施月日、実施内容の概略、参加者数)**

**実施内容の概略:** 1) 動物実験等に関する法令等、本学規程について(各種手続きほか)  
 2) 動物実験等の方法に関することについて(計画における留意点ほか)  
 3) 実験動物の飼養保管に関することについて(動物福祉の確保等留意点ほか)  
 4) 安全確保、安全管理に関することについて(遺伝子組換え実験ほか)  
 5) 人獣共通感染症に関することについて  
 6) その他必要事項(施設利用の方法ほか)

**松本キャンパス**

	回数	年間合計参加人数 (学部学生を含む)	実施月日
教育訓練(施設利用 講習会含む)	14	77 (含 教育学部1名)	1/23, 1/30, 1/31, 2/1, 4/27, 4/28, 7/5, 7/26, 7/27, 7/28, 9/28, 10/31, 11/1, 12/8
教育訓練(再講習)	8	60	1/16, 2/13, 3/17, 4/20, 6/23, 8/8, 10/18, 12/18
SPF区域講習会	5	9	5/8, 5/9, 5/30, 6/30, 12/15, 12/19
感染区域講習会	2	4	6/13, 12/13

**伊那キャンパス**

	回数	年間合計参加人数 (学部学生を含む)	実施月日
教育訓練(施設利用 講習会含む)	10	94	4/13, 14, 19, 21 5/02 6/01 7/12 10/17, 20 11/02
教育訓練(再講習)	3	33	4/20 8/08 12/18

**上田キャンパス**

	回数	年間合計参加人数 (学部学生を含む)	実施月日
教育訓練(施設利用 講習会含む)	6	19	2/1, 4/27, 4/28, 7/27, 10/31, 11/1
教育訓練(再講習)	4	7	6/23, 8/8, 10/18, 12/18

## 基盤研究支援センター動物実験支援部門 施設利用状況

集計年： 2023 年（1月1日～12月31日）

年間延べ入館者数： 19,436 人  
 利用登録者数： 489 人  
 施設見学者数(合計)： 61 人

### 動物数

#### 実験動物購入(導入)数

動物種	数
マウス	2,637
ラット	941
モルモット	32
ウサギ	1

#### 動物飼養数

動物種	数
マウス	9,486
ラット	322
モルモット	3
ウサギ	1

※特定日の飼養数あるいは一日当たりの平均飼養数

#### 実験で犠牲となった動物数

動物種	数
マウス	37,719
ラット	1,422
モルモット	18
ウサギ	3

※年間合計

### 実施中の実験計画書における苦痛の категорияに関する集計

	カテゴリーA	カテゴリーB	カテゴリーC	カテゴリーD	計
件数	1	24	61	205	291
割合(%)	0.3	8.2	21.0	70.4	100.0

※カテゴリーA = 生物個体(動物の生体)を用いない実験あるいは植物、細菌、原虫、又は無脊椎動物を用いた実験

※カテゴリーB = 動物に対してほとんど、あるいはまったく不快感を与えないと思われる実験操作

※カテゴリーC = 動物に対して軽微のストレス又は痛み(短時間持続する痛み)を伴うと思われる実験

※カテゴリーD = 回避できない重度のストレス又は痛み(長時間持続する痛み)を伴うと思われる実験

※カテゴリーE (無麻酔下の動物に、耐える限界に近い又はそれ以上の痛みを与えると思われる実験)は承認されない。

参考：「実験動物」には該当しない実験計画で用いている動物や試料

カテゴリーA = 食用豚の頭部を入手して用いる計画 1件

魚類 = ゼブラフィッシュを用いる計画(カテゴリーC) 1件

### 定期検疫検査

SPF区域 4回

普通区域 4回

検疫結果はいずれも陰性

### 新規導入動物の検疫数

SPF区域 0系統

普通区域 2系統

検疫結果はいずれも陰性

### 胚操作業務

体外受精・胚移植  
(クリーニング) 0件

体外受精・胚移植  
(系統維持) 3件

胚凍結/融解 12/11件

遺伝子改組動物作製  
(CRISPR/cas9) 0件

精巢上体尾部採取 0件

精子凍結 3件

## 農学部 飼養保管施設利用状況

集計年： 2023 年（1月1日～12月31日）

### 動物実験者数

教員	23 人
大学院生	57 人
学部学生	102 人
その他	14 人

### 動物数

#### 実験動物購入(導入)数

動物種	数
マウス	935
ラット	31
ニワトリ	722
ヒツジ	0
ウシ	4
ヤギ	0
クジャク	1

#### 動物飼養数

動物種	数
マウス	901
ラット	31
ニワトリ	586
ヒツジ	26
ウシ	62
ヤギ	6
クジャク	1

※特定日の飼養数あるいは一日当たりの平均飼養数

#### 実験で犠牲となった動物数

動物種	数
マウス	2923
ラット	27
ニワトリ	721
ヒツジ	0
ウシ	1
ヤギ	0
クジャク	0

※年間合計

### 実施中の実験計画書における苦痛の 카테고리に関する集計

	カテゴリーA	カテゴリーB	カテゴリーC	カテゴリーD	計
件数	1	46	36	21	104
割合(%)	1.0	44.2	34.6	20.2	100.0

※カテゴリーA = 生物個体(動物の生体)を用いない実験あるいは植物, 細菌, 原虫, 又は無脊椎動物を用いた実験

※カテゴリーB = 動物に対してほとんど, あるいはまったく不快感を与えないと思われる実験操作

※カテゴリーC = 動物に対して軽微のストレス又は痛み(短時間持続する痛み)を伴うと思われる実験

※カテゴリーD = 回避できない重度のストレス又は痛み(長時間持続する痛み)を伴うと思われる実験

※カテゴリーE (無麻酔下の動物に, 耐える限界に近い又はそれ以上の痛みを与えると思われる実験)は承認されない。

参考 : 「実験動物」には該当しない実験計画で用いている動物や試料

カテゴリーA = 既に得られた臓器組織の利用 1件

### 定期検疫検査

1 回

検疫結果はいずれも陰性

### 新規導入動物の検疫数

0 系統

## 繊維学部 実験実施状況

集計年： 2023 年（1月1日～12月31日）

### 動物実験者数

教員 6 人  
 大学院生 12 人  
 学部学生 55 人  
 その他 8 人

### 動物数

#### 実験動物購入(導入)数

動物種	数
マウス	382
ラット	39
緬羊	0
カエル	99

#### 動物飼養数

動物種	数
マウス	873
ラット	239
緬羊	58
カエル	0

※特定日の飼養数あるいは一日当たりの平均飼養数

#### 実験で犠牲となった動物数

動物種	数
マウス	2,494
ラット	270
緬羊	0
カエル	99

※年間合計

### 実施中の実験計画書における苦痛の категорияに関する集計

	カテゴリーA	カテゴリーB	カテゴリーC	カテゴリーD	計
件数	0	11	34	11	56
割合(%)	0.0	19.6	60.7	19.6	100.0

※カテゴリーA = 生物個体(動物の生体)を用いない実験あるいは植物, 細菌, 原虫, 又は無脊椎動物を用いた実験

※カテゴリーB = 動物に対してほとんど, あるいはまったく不快感を与えないと思われる実験操作

※カテゴリーC = 動物に対して軽微のストレス又は痛み(短時間持続する痛み)を伴うと思われる実験

※カテゴリーD = 回避できない重度のストレス又は痛み(長時間持続する痛み)を伴うと思われる実験

※カテゴリーE (無麻酔下の動物に, 耐える限界に近い又はそれ以上の痛みを与えると思われる実験)は承認されない。

参考 : 「実験動物」には該当しない実験計画で用いている動物や試料

両生類 = カエルを用いる計画(カテゴリーB) 1件

### 定期検疫検査

1 回

検疫結果はいずれも陰性

### 新規導入動物の検疫数

5 系統

検疫結果はいずれも陰性

## 理学部 実験実施状況

集計年： 2023 年（1月1日～12月31日）

### 動物実験者数

教員	4 人
大学院生	0 人
学部学生	2 人
その他	0 人

### 動物数

#### 実験動物購入(導入)数

動物種	数
ラット	8
牛	0
羊	0

#### 動物飼養数

動物種	数
ラット	8
牛	9
羊	5

※特定日の飼養数あるいは一日当たりの平均飼養数

#### 実験で犠牲となった動物数

動物種	数
ラット	8
牛	0
羊	0

※年間合計

### 実施中の実験計画書における苦痛の категорияに関する集計

	カテゴリーA	カテゴリーB	カテゴリーC	カテゴリーD	計
件数	2	3	0	0	5
割合(%)	40.0	60.0	0.0	0.0	100.0

※カテゴリーA = 生物個体(動物の生体)を用いない実験あるいは植物, 細菌, 原虫, 又は無脊椎動物を用いた実験

※カテゴリーB = 動物に対してほとんど, あるいはまったく不快感を与えないと思われる実験操作

※カテゴリーC = 動物に対して軽微のストレス又は痛み(短時間持続する痛み)を伴うと思われる実験

※カテゴリーD = 回避できない重度のストレス又は痛み(長時間持続する痛み)を伴うと思われる実験

※カテゴリーE (無麻酔下の動物に, 耐える限界に近い又はそれ以上の痛みを与えると思われる実験)は承認されない。

参考 : 「実験動物」には該当しない実験計画で用いている動物や試料

カテゴリーA = 野生下で自然死した哺乳類の死体を用いる計画 1件

猟友会が殺処分したニホンザルの死体を用いる計画 1件

野生動物 = 野生のニホンザルを用いる計画(カテゴリーB) 1件